

パステルカラーの筆ペン

ペンてる ミルキーインキ搭載 ブラッシュシユ系製品を拡充



ラフに描けるミルキーブラッシュ

ペンてる株式会社(高橋哲和社長、東京都)は、5年の歳月をかけて開発した、パステルカラーの筆ペン「ミルキーブラッシュ」の発売(9月20日)に先駆けて、9月13日午後1時から、東京・日本橋のKNAGで、プレス向けの体験説明会をリアルとオンラインで開催した。

新発売の「ミルキーブラッシュ」は、1996年に発売して人気を博したパステルカラーのボールペン「ハイブリッドミルキー」のインキを搭載した、ブラッシュタイプ。カラー筆の中でも珍しい不透明のパステルカラーで、クラフト紙や濃い色の紙に書いても、インキがしっかりと乗り、キレイに発色する。穂先による表現と重ね塗りが可能で、インキにより、何気ない文字やイラストも、明るくかわいい印象を描くことができる。

「ハイブリッドミルキー」のインキは、同社が画材や修正液で培った技術を活用して生まれ、発売当時は、黒い紙にも書ける、これまでにないボールペンとして人気となった。30〜40歳代を中心に知名度の高い「ハイブリッドミルキー」のパス



「ハイブリッドミルキー」のインキは、同社が画材や修正液で培った技術を活用して生まれ、発売当時は、黒い紙にも書ける、これまでにないボールペンとして人気となった。30〜40歳代を中心に知名度の高い「ハイブリッドミルキー」のパス

「ハイブリッドミルキー」のインキは、同社が画材や修正液で培った技術を活用して生まれ、発売当時は、黒い紙にも書ける、これまでにないボールペンとして人気となった。30〜40歳代を中心に知名度の高い「ハイブリッドミルキー」のパス

いた。8色展開のラメ筆ペン「デュアルメタリックブラッシュ」の発売(2020年)により、実現化への可能性が高まった。と話し、ミルキーインキと筆の組み合わせについて、「インキのカラー力と定着性を技術開発のトレードオフを解消するのが難しかった」と開発の苦労を明かした。

「従来のような企画、デザイン、マーケティングのリリース方式ではなく、企画段階から新しい筆ペンをつくる」と、3人でディスカッションを行い、話し合う中で、「いいねを増やしていった。これまでは違った進め方は、自分たちがほしいと思えるものを突き詰めて追求することができた」と振り返った。

使用シーンについては、筆文字を上手に書くのはハードルが高い。筆のタッチとかわらぬように、色々と振り返った。

「ハイブリッドミルキー」のインキは、同社が画材や修正液で培った技術を活用して生まれ、発売当時は、黒い紙にも書ける、これまでにないボールペンとして人気となった。30〜40歳代を中心に知名度の高い「ハイブリッドミルキー」のパス

「色遣いで、ドットや線を描くだけで絵になり、クラフト紙や色紙にも映える。カードやラッピング、ギフトタグなどのギフトシーンにも最適」とし、本体デザインは、「使ってほしいシーンを浮かべながらデザインに落とし込んだ」と語った。

また、「Pentel Arts(ペンてるアーツ)」の活動について、「ミルキーブラッシュは、ペンてるアーツの世界観を表現する商品。ペンてるアーツは、ペンてるからの新しい提案、手書きを贈るというメッセージと共に、手書きの温もりや楽しさが生み出す日々の豊かさを届けていく」と語った。

「1946年の創立以来、表現にまつわる数多くの製品(二重奏、ペン、描くことのできる改訂版「描く」)の歴史を伝えるために、製品の良さを伝えるために、使ってもらって、感じてもらう」と語り、色々と振り返った。

「1946年の創立以来、表現にまつわる数多くの製品(二重奏、ペン、描くことのできる改訂版「描く」)の歴史を伝えるために、製品の良さを伝えるために、使ってもらって、感じてもらう」と語り、色々と振り返った。



「ミルキーブラッシュ」を使ったワークショップも実施予定。当日の全プログラムはオンラインから誰でも無料で視聴できる。無料オンライン視聴(YouTubeライブ) || <https://youtu.be/Bis1XFWE7-I>

「ハイブリッドミルキー」は1996年に発売して人気を博した、パステルカラーのボールペン。不透明なパステルカラーのインキを採用したのは、業界で初のこと。黒い紙や写真シールにも書けるボールペンとして、「ミルキー」の愛称で小中学生を中心に一大ブームを巻き起こし、販売本数は年間1億本を突破。店頭では一時品薄状態となり、お詫ひ広告を出すという異例の事態も起こった。発売から26年が経った現在も、平成時代の文化を象徴するアイテムとして、また、「黒い紙に書けるパステル調インキのペン」の代名詞として、高い認知度を有している。なお、現在は国内での販売は終了している。

「ハイブリッドミルキー」のインキは、同社が画材や修正液で培った技術を活用して生まれ、発売当時は、黒い紙にも書ける、これまでにないボールペンとして人気となった。30〜40歳代を中心に知名度の高い「ハイブリッドミルキー」のパス

インクやガラスペン 手書きファンが多数来場

タケタ事務機が「京都手書道具市」



出店者との交流を楽しむ来場者

株式会社タケタ事務機(行田社長、京都市)企画開発部は、9月9〜11日、京都・烏丸御池の京都文化博物館開館館で、手書にまつわる道具の即売会「京都手書道具市」を開催。9日のプレイベントも含め、前売りチケットはほぼ完売の人気で、多数の来場者で賑わった。

会場には、30社が出展、ブームの万年筆インクやガラスペン、万年筆やガラスペンに合わせた紙や紙製品、デコレーションに人気のスタンプなど、手書き好きを魅了する個性的な商品が並んだ。業界関連ではサンピー、タケタ事務機、ナガサワ文具センター、石丸文行堂、文具館コトバヤシなどが出店。

サンピーは作家コラボのスタンプやサンケル商品、万年筆インクの副業スタンプ台、9月1日にマクアケで先行販売を開始した「日めくりクリアスタンプ」/タケタ事務機、ナガサワ文具センター

イベントは製品の新たな魅力や開発の裏側を体感できる内容で、「ミルキーブラッシュ」を使ったワークショップも実施予定。当日の全プログラムはオンラインから誰でも無料で視聴できる。無料オンライン視聴(YouTubeライブ) || <https://youtu.be/Bis1XFWE7-I>

文具知識能力検定

4月開催予定の本試験に向けて
Let's Challenge!

商標登録 登録No.5150467

受験料無料

<https://www.bungukentei.jp>

第31回

あなたは全国何位? 全国模擬試験開催中!

パソコンでチャレンジ・スマホでチャレンジどちらもOK!

模擬テストの設問は、期間中、随時追加されます。
特に全国ランキングに挑戦している人は、
定期的に当サイトのチェックを欠かさないでね!!

検定本No.X(10) 好評発売中!

模擬試験実施期間

2022年 2022年
9月1日(木) ~ 11月30日(水)

【協賛企業】(株)キングジム、(株)クツワ、(株)コクヨ、(株)ショウワノート、(株)ダイゴー、(株)パイロットコーポレーション、ペンてる(株)、(株)LIHIT LAB. (50音順)

文具知識能力検定共催会社：紙製品新聞社・全通・文研社・日本文具新聞・メイブ

ネオンオレンジ
ホワイト
ライトグリーン
イエロー
ブラック

リフレクターシール

夜はもちろん 昼間もあらゆる環境下で輝く
反射シール

ヤマト株式会社 〒103-8571 東京都中央区日本橋大伝馬町9-10
<https://www.yamato.co.jp>